

平成30年度使用小学校教科用図書「特別の教科 道徳」選定資料

選定意見書

(教育委員会会議資料)

もくじ

選定意見書の見方……	1
1 東京書籍 ……	2
2 学校図書 ……	3
3 教育出版 ……	4
4 光村図書 ……	5
5 日本文教出版 ……	6
6 光文書院 ……	7
7 学研教育みらい ……	8
8 廣済堂あかつき ……	9
9 まとめ ……	10

平成29年7月

熊本市教育委員会

選定意見書の見方

○各種目の意見書について

・観点の番号は、以下の内容を表す。

観点	内 容
1	学習指導要領第2章各教科（各節）「第1 目標」及び「第2 各学年の目標及び内容」、第3章特別の教科 道徳「第1 目標」及び「第2 内容」が達成できるようになっているか。
2	基礎的・基本的な知識・技能の着実な習得を図るための工夫がなされているか。 道徳的価値の理解を図るための工夫がなされているか。
3	思考力・判断力・表現力等を育む観点から、基礎的・基本的な知識・技能の活用を図る学習活動、特に、言語活動の充実を図るための工夫がなされているか。 「考える道徳」「議論する道徳」を実現するよう配慮・工夫がなされているか。
4	児童生徒の学習意欲を向上させ、主体的に学習に取り組む態度を養うための工夫がなされているか。 道徳性を養うことの意義について、児童自らが考え、理解し、主体的に学習に取り組む態度を養うための工夫がなされているか。
5	個々の児童生徒の理解に応じ、きめ細かな指導ができるよう、補充的な学習や発展的な学習に関する内容の充実が図られているか。 児童の道徳性の育成に向け、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育を補ったり、それを深めたり、発展させたりする学習に関する内容の充実が図られているか。
6	生活や職業との関連を重視し、児童生徒の発達に段階に応じた勤労観・職業観をはぐくむための工夫がなされているか。
7	公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うための工夫がなされているか。
8	生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うための工夫がなされているか。
9	伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うための工夫がなされているか。
10	人権教育の推進を図るための工夫がなされているか。

○教科書展示会の結果については、学校からの意見と一般の方の意見の中で顕著なものを表す。

○選定委員会の意見については、調査研究員の報告をもとに選定委員会で審議された結果を表す。

意見書 小学校 種目 (道徳)

発行	観点	調査結果
東書	1	「これから1年間で学ぶこと」では、4つの視点別に主題名と教材がまとめてあるページがあり、教科書の全体像を知ることができる。また、各教材のページには主題名と教材名も列記してあるので、道徳的価値と教材との関連がわかりやすいよう配慮されている。
	2	「つながる・ひろがる」の欄は、エンカウンターや他教科との関連を図るような内容が取り上げられており、道徳的実践や別業との関連が確実に図れるよう工夫されている。
	3	教材の最初に考えるポイントを示して問題の焦点化を図り、最後に「考えるステップ」を学習の手引きとして提示して、学習が発展しやすいよう工夫されている。
	4	「おうちの人といっしょに考えよう。」「二人の異なる考え方について話し合う。」「ルールは決めるか。」「制限はするかしないか。」などを投げかけて学習活動を促すことで、児童が主体的に取り組めるような工夫がみられる。
	5	「いじめ問題」への対応に関する教材が目次の中に色分けして示してあり、「とびらページ」「間接的教材」「直接的教材」の順で構成され、関連価値を大事にして考えの深まりをねらっている。内容も実態に合っていて、自分と重ねて学習するのに適した教材として工夫されている。
	6	2年「ぼくはのび太でした」104頁では、ドラえもんの作者である藤子・F・不二雄さんの言葉の意味を考えることで、がんばることの良さを感じることができるよう工夫されている。
	7	全学年に「情報モラル」に関する教材が巻末に配置されている。3年「それはだれの作ひん」148頁という教材では、情報化社会の倫理や著作権に関する事を保護者と一緒に考えることができるよう工夫されている。
	8	生命尊重については指導要領を踏まえて、教材の内容に工夫がみられる。全学年で3～4教材取り上げてあり、命について多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。
	9	3年「ふるさといいとこさがし」136頁では、自分たちが住む郷土のよさを探す活動を通して、郷土を愛する心を育むように工夫されている。
	10	3年「耳の聞こえないお母さんへ」77頁という教材では、家族の中の障害をもつ母と子供との気持ちの関わり合いが、手紙という形式で掲載されていて、家族愛や障害者の人権について考えさせるための工夫がされている。
教科書展示会の結果 (学校 43 一般 6 合計 49)		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今学習している内容のものもあり、見慣れている。 ・資料名の横に、その資料で学ぶ価値を分かりやすい言葉で書いてあるところがよかった。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挿し絵が大きく、よかった。 ・「平和」問題を積極的に取り上げている。 		

発行	観点	調査結果
学 図	1	「読みもの」と「活動」の2部構成に分冊され、課題意識をもつことと考えを深める活動を通して道徳的価値に迫ることができるよう工夫されている。
	2	全学年で活動の特設ページでは、動作化や役割演技など活動の方法を提示し、多面的・多角的な考えがもてるような工夫がされている。
	3	「活動」の問いの上には、多様な学びがマークで示されている。問題解決的な学習、体験的な学習を類別してあり、活動の方法がわかりやすいよう工夫されている。(5年(活動)「手品師」6頁)
	4	「家族の大切さ」を扱った1年(よみもの)「まんまるおにぎり」70頁という教材は、家族のために働く良さを考えることができ、「親子道徳の日」の取り組みに適している。
	5	「活動」には、学んだことを生活の中に生かしたり、自分自身のことを考えたりするためのヒントになるような内容が紹介され、より発展的に学ぶことができるよう配慮されている。
	6	全学年で「読み物コラム」に「生き方を学ぼう」が載っており、伝記や有名人に関する教材が多く取り上げられていて、目標に向かってひたむきに努力する心を学ぶことができるよう工夫されている。
	7	全学年で「言葉・情報モラル」のコラムが2つずつ取り上げられている。個人情報の遵守などが、発達段階に応じた内容で構成されている。
	8	全学年に、「命のかがやき」が読み物コラムに掲載され、系統的に生命の尊さを学ぶよう配慮されている。
	9	6年(読みもの)「山の畑には草をしけ」114頁では、阿蘇の草原の維持と持続的農業が「世界農業遺産」に認定されたことが資料として紹介されている。
	10	盲導犬についてのコラムや車いすに乗っているうさぎの読み物資料があり、児童が興味関心をもって学べるよう配慮されている。
教科書展示会の結果 (学校 41 一般 3 合計 44)		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み物と活動が分かれていて、適切な活動内容が選定されていていい。自由に選ぶ選択肢があって使いやすい。 ・道徳の学習を始める前にどんな思いで授業にのぞむのか、意欲付けとなるページが最初にある。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読みもの」と「活動」に分かれているのは使いづらい。 ・教材の前に「主題」が書かれているのがよい。分かりやすい。教材に「発問」が付けられていない。これまでの副読本とあまり変わらず、残念。もっと様々な教材がほしかった。 		

意見書 小学校 種目 (道徳)

発行	観点	調 査 結 果
教出	1	目次が主題との関連で配置されているので、この教材はどんなめあてで学習するのかわかりやすいよう工夫されている。
	2	教材文の後の「ジャンプ」のコーナーには、2年「およげないりすさん」50頁で、それぞれの立場での役割演技ができるよう工夫されている。
	3	資料の始めに自分を振り返るような発問があり、問題意識をもって授業に取組み、問題解決的な学習につなげることができる工夫がみられ、指導過程の参考にするための「学びの手引き」には、上段に教材の理解を深める発問、下段には道徳的価値の理解を深める発問が設けられている。(4年「あいさつでつながる」44頁)
	4	全学年で、家族関係について考えさせる教材が取り上げてあり、「親子道徳の日」に活用できるよう工夫されている。(例：1年「おふろばそうじ」23頁「おじいちゃんだいすき」26頁)
	5	遊びのつもりがいじめに繋がることや傍観者もいじめであることを考えさせる内容もあり、児童にとって「いじめ問題」の抑止力を高めることができるよう工夫されている。(例：2年「みほちゃんとなりのせきのますだくん」44頁)
	6	5年では長嶋茂雄や上野由岐子、6年では秦由加子などオリンピックやパラリンピックの選手も取り上げてあり、世界で活躍した競技者の努力や苦悩について学ぶことができるよう工夫されている。
	7	災害の後の復旧、復興に向けて、海底の清掃活動に取り組んだ人物を取り上げ、社会のために行動することの大切さを考えることができるよう工夫されている。(6年「青い海を取りもどせ」32頁)
	8	1年「いのちのはじまり」42頁では、「へそ」についての分かりやすい教材があり、性に関する教育や家族愛にもつなげることができるよう工夫されている。「親子道徳の日」にも活用できるよう工夫されている。
	9	4年生の補充教材に「動物たちの命を守る一熊本市動物愛護センターのちょう戦」141頁が取り上げられ、身近な人の命を守る活動を知ることによって熊本市を誇りと思える工夫がみられる。
	10	1年の「だれとでも」94頁の教材に、悲しくなることばとして「キモイ、うざい」が使用されており、教科書に掲載するときの配慮がほしい。
教科書展示会の結果 (学校 40 一般 8 合計 48)		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何も書いてない吹き出し等、子供たちに考えさせやすい工夫があった。 ・学びの手引きの欄があり、ポイントを捉えた発問がわかりやすく提示してあった。 ・イラスト、写真が見やすいものだった。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次に4つの心がのっているのがとてもわかりやすくてよいと思った。 ・挿絵や表紙の絵がきれい。 		

意見書 小学校 種目 (道徳)

発行	観点	調 査 結 果
光 村	1	教材文末の「考えよう」にめあてと3つの問い「課題設定、深める問い、テーマ発問」が示され、「つなげよう」で他の学習や生活につなぐことができるよう工夫されている。
	2	教材とコラムとを関連付けたり、広げたり、スキルのなものを考えられたりするようユニットが設定され、学びを深めることができるよう、よく工夫されている。(3年79～81頁)
	3	教材の後ろにある「考えよう」のコーナーには問題解決的な問いが3つあり、児童が主体的に考え、さらに多様な言語活動につなげて学習できるよう工夫されている。(3年79～81頁)
	4	教材の最初に授業の導入で活用できる問いかけが明示されており、児童が興味・関心をもち主体的に取り組むことができるよう工夫されている。
	5	「いじめ対応」については、3年生では伝えることの大切さを通して学習が深められ、「友達とのかかわりについて考えよう」(36頁)で、いじめに発展しないような気持ちの伝え方について学べるよう配慮されている。
	6	全学年で、伝記、スポーツで活躍した人など幅広い資料が入れられ、その生き方から学ぶことができるよう工夫されている。
	7	全学年で情報モラルに関する教材と組み合わせたコラムが取り上げられ、2年生の教材では、図工の時間に友達の作品に触ってしまうなど、児童の生活の中で起こりがちなことを取り上げ、情報社会の倫理的側面を取り扱っており、情報モラルを考えることにつながり、この時期の児童に適している。(例：2年「友だちが作ったものは」18頁)
	8	全学年に「生命の尊さ」がセットとして扱われており、発達段階に即して、「命」についての学びが深められるよう工夫されている。
	9	5年では、「水がわたる橋 通潤橋」44頁という教材で、郷土を愛する気持ちも育てることができるように配慮されている。
	10	中学年では「くらしの中のユニバーサルデザイン」で3つの教材分がセットとして取り上げられており、ユニバーサルの視点を大切に工夫がみられる。(8～9頁)
		教科書展示会の結果 (学校 59 一般 10 合計 69)
		<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に「現代的な課題との関わり」「他教科・領域との関わり」が書いてあり分かりやすい。 ・カラーの感じが見やすい。子供が入り込みやすい。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとに学ぶ順で資料があり、よかった。巻頭に学年ごとの道徳への心構えがのっており、よかった。 ・「人権」「平和」「共生」を中心にすえた読み物だった。一人の人間として成長していく、その礎をきちんと押さえてあった。

意見書 小学校 種目 (道徳)

発行	観点	調査結果
日 文	1	教科書とノートの2冊で構成されている。道徳ノートには友達のことを記入する欄が設けられていて、多面的な考えを取り入れるよう工夫されている。
	2	目次が4つの視点別に色分けしてあり、役割演技や問題解決的な学習へ発展させて教材と関連させる工夫があり、学んだ考えを広げ深められるようよく工夫されている。
	3	3年「もっと調べたかったから」p.28は、教材の始めに問題解決的な学習に取り組めるような問いかけがあり、「学習の手引き」を使って問題解決的な学習へ具体的に取り組めるようよく工夫されている。
	4	テーマごとに教材がユニット化されていて、体験的に学べるようなコラムも設定されている。児童が自分との関わりで捉えて、切実感をもって主体的に学習できるようよく工夫されている。
	5	いじめ問題に関する教材が「心のベンチ」の中に掲載されている。道徳と特別活動で話し合いから実践を問うものになっていて、道徳的实践へつながるようよく工夫されている。いじめに関連する教材は多数取り上げられており、発達段階に応じたものでとても配慮されている。具体的な学びの手引きとして順序が示してありよく工夫されている。
	6	3年「木の中にバットが見える」では、松井選手、イチロー選手を支える人を教材化してあり、他の教科書には見られない視点で教材を作成してあり工夫されている。
	7	6年の「心のベンチ」58頁の「情報モラルの達人チェックシート」は、情報モラルに必要なことが楽しく学べ、自分との関わりで考えることができるようよく工夫されている。
	8	1年では、主に動物や植物の生命の誕生から命の大切さを学ぶ資料が多く、2年では、自分の成長・事故による命の有限性に気付き・生きる喜び生きている実感から、生命について考えるよう工夫されている。
	9	1年「オリンピック・パラリンピック」38頁という資料は、大きな写真で開会式や競技の様子が提示してあり、1年生にもオリンピックやパラリンピックについて理解し、他国について関心をもてるよう工夫されている。
	10	いじめ対応とも関連させ、「同じ仲間だから」で児童の生活の中でよく起こるようなことが教材として取り上げてあるので、児童が自分たちの生活を振り返って考えやすいよう工夫されている。
教科書展示会の結果 (学校 41 一般 7 合計 48)		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートと教科書がセットになっているので、児童の考えの変容などが分かり、ポートフォリオのように活用できてよいと思った。 ・教科書の写真がとてもきれい。道徳ノートは、単元別に発問が2～3で構成されており、書き込みがしやすい。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・充実している。 ・「平和」問題を積極的に取り上げている。 		

意見書 小学校 種目 (道徳)

発行	観点	調 査 結 果
光 文	1	冒頭「さあ道徳の学習が始まります」では、道徳科の意義について児童にも分かりやすい平易な言葉で書かれ、「道徳の時間は、こんな時間です」で学習過程も理解しやすいようよく工夫されている。
	2	目次が4つの視点別に色分けしてあることで、教材と内容項目との関連が理解しやすいような工夫がみられる。
	3	全学年、脚注部に考えるためのポイントや大切な見方がかかれており、心情を問うだけでなく、児童の見方・考え方を問うものが多くよく工夫されている。(例：3年「こまるのはだれ？これでいいのかな？」82頁)
	4	「親子道徳の日」で、家の人へ聞き取りをするなどの体験的な活動へつなげられるようよく工夫されている。(4年「ぼくの生まれた日—ドラえもん—」138頁)
	5	いじめ対応教材は、実際にクラスでよく起こるような児童に身近な問題が取り上げてあるので、児童が自分たちの実態と重ねて学習できるようよく工夫されている。(6年「森川君のうわさ」126頁)
	6	2年「はかたにんぎょうの名人—こじまよいち—」28頁という教材文は、児童にはあまりなじみのない博多人形という日本の伝統的なものづくりについて「知る」という点で工夫されている。
	7	目次から情報モラルに関連する教材がすぐにわかるような工夫がみられる。
	8	生命の尊さについては、指導要領を踏まえて児童の実態に応じた学習ができるよう、複数の教材を配当するなどよく工夫されている。
	9	3年「こまったときは、おたがいさま」164頁は、東日本大震災を取り扱い、被災と日本人のよさを同時に考えさせるよう工夫されている。
	10	信頼、友情や集団生活の充実を内容項目とする教材では、児童の実態にあった学級内の出来事が取り上げてあり、また、みんなの力が結集したことにより今までにない経験ができたという前向きな終わり方になっており、児童に考えさせるためによく工夫されている。
教科書展示会の結果 (学校66 一般7 合計73)		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材名の横に学習のめあてが書かれていて、子供たちが課題を把握しやすいように工夫してある。 ・本文の下に補助発問があり、使いやすい。また、主発問が最後にあるのでよいと思う。資料に入る前にねらいのもたせ方も書いてあり、よい。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挿絵や表紙の絵がきれい。 ・充実している。 		

意見書 小学校 種目（ 道徳 ）

発行	観点	調 査 結 果
学 研	1	目次に色がついて、「生命尊重」「信頼友情」に関わる複数の教材がユニット化されている。巻末に学びを書くようになっていて、1年間の学習の足跡が残せるような工夫がみられる。
	2	教材の後に「やってみよう」「つなげよう」「広げよう」というコラムがあり、役割演技や体験的な活動への関連がわかりやすいよう配慮されている。
	3	「道徳の学習が始まるよ」の中に、多様な言語活動の例が示してあり、道徳の時間に活用できるよう工夫されている。
	4	家族に自分のよさや職業観についての聞き取りをしたり、一緒に情報モラルの約束づくりをしたりする問いかけがあり、「親子道徳の日」に生かせるような工夫がみられる。(例：1年「みっちゃんのやくそく」90頁)
	5	各学年でいじめ防止として、生命尊重、偏見、からかい、公正さ、言葉遣い、嫌なことは嫌だと言う勇氣等、多様な内容が取り上げてあり工夫されている。
	6	ソフトボールの上野由岐子選手、マラソンの高橋尚子選手等を取り上げ、本人の努力の積み重ねがすばらしい結果につながったということを教材化している点で工夫がみられる。
	7	全学年で教材に続けて「広げよう」を配置し、実際の生活でよく起きることをもとにして学びを家庭へ繋ぐようになっており、家庭との連携を大切に、家庭でのルールやネット上の危険性についても考えることができるよう工夫されている。
	8	他教科の学習と関連させながら登場人物に共感することができ、命の有限性や連続性を考えていけるようよく工夫されている。
	9	「熊本の心」に関係の深い人の作品が教材として掲載されている。6年「自分は自分」8頁では葉祥明の詩、「古きよき心」36頁ではラフカディオ・ハーンの随筆が取り上げられているので、郷土を愛する心を育むのに適している
	10	外国人への配慮に関する教材では、文章ばかりでなく漫画的に場面絵を描き、児童が興味関心をもって学習に臨めるよう工夫されている。
		教科書展示会の結果（ 学校 43 一般 6 合計 49 ）
		<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学研は、特にわかりやすいものに仕上がっていた。4領域を「わたしのこと」「あなたとわたし」「しゃかいとわたし」「いのちやしぜんとわたし」と表されており、1年生の子供もわかりやすく工夫されていた。 ・ネットのトラブルの話など、現代の問題に沿って教材が作成されており、わかり易かった。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きくて重いと思う。 ・サイズが大きい。内容項目などのメモはシンプル。

意見書 小学校 種目 (道徳)

発行	観点	調査結果
廣あかつき	1	全学年、巻頭の「道徳の時間はこんな時間」では、道徳の学習の流れが詳しく記載されており工夫がみられる。
	2	全学年、「善悪の判断、自律、自由と責任」「親切、思いやり」「生命の尊さ」の内容項目については、3つの教材が配当され、本市の重点内容項目と一致しており、とても配慮されている。
	3	各教材の「学習の道すじ」には「～はどうしてでしょう。」「どのようにすれば解決できるだろう。」などの教材をもとに考える問いや自己に照らして考える問いがあり、考えたくなるようよく工夫されている。
	4	「どうとくノート」の巻末に、「心のしおり」として学習の振り返りや内容項目ごとの行動の自己評価を記していくページが設けられていて、学習や自分自身の振り返り、また教師側の評価にも活用できるようよく工夫されている。
	5	「いじめ防止」については善悪の判断や、友情、情報モラルなど多角的な見方から課題に迫るようよく配慮され、構成されている。どれも偏見からくる差別について考え話し合うことができ、発達段階に合っていて人権感覚を育てるのに適している。
	6	3年「きっとできる」66頁で、高橋尚子を取り上げてあり、オリンピックとの関連で努力と強い意志について考えることができるよう工夫されている。
	7	情報モラルについては、3年生以上で巻末にコラムとして取り上げられ、資料とのつながりも考えられている。
	8	3年では、「たん生日おめでとう」「コラム：『命』を考える」「電池が切れるまで」26～30頁の3つを連続して配置することで、指導内容の重点化が図られ工夫されている。5年でも同様に教材が2つとコラムが連続して配置されている。
	9	熊本県関係では3年「光るえんがわ」84頁で北里柴三郎が取り上げられて、物事をやり通す人の素晴らしさが取り上げられていて、郷土を愛する心を育てる教材として工夫がみられる。
	10	3年「母のせなか―渋沢栄一―」100頁は、周りの偏見に流されず公平で公正な態度を醸成する教材である。熊本県では、5年で水俣について学習するので、そこに繋がる内容として適している。
教科書展示会の結果 (学校 56 一般 4 合計 60)		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の本とノートがセットになっていて、自分の考えを残していけるのがよい。また、「今まで教えていてよかったな」と思う内容が、たくさん載っていた。 ・別冊でノートがついており活用しやすそうである。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前から使われていた題材が、多く取り入れてあり、いいと思う。ノートもあるので使いやすいし、記録に残しやすい。1年の初めのところは、実態に合っている。 ・資料がこれまでの内容と同じものが多く、活用しやすそう。 		

教科書展示会の全体的な意見（ 学校 38 一般 16 合計 54 ）

【学校】

- ・どの教科書も、今までの道徳の副読本のような感じで、扱いやすそうだった。
- ・教科化に向けて、初の教科書となるべく、どこの教科書も様々な工夫が感じられた。絵や写真がとてもきれいで子供の興味を引くものばかりだった。

【一般】

- ・内容に各社工夫をこらし充実していましたが、現実の指導では各自の評価はどうされるのでしょうか。考えたことを書く等のページもあり、文章のうまい子、頭のよい子がよい評価をうけるような気がしました。また、価値観の押し付けにならないか心配もあります。子供の悩みを受け止め、共に解決していくような利用を期待します。
- ・道徳教科書を拝見したが、厚くて重そうに思う。今、子供が持っている本の 2 倍ぐらいあって子供がかわいそう。ノートがある本はばらばらになりそうな気がする。道徳では礼儀とか家での生活態度も教えるのか。

選定委員会の意見

道徳科の目標は、「学習指導要領第 1 章総則の第 1 の 2 に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。」である。

全 8 社の教科書とも、学習指導要領の目標及び内容に従い、それぞれに工夫された内容構成となっている。

光文書院の教科書に関しては、以下の点が工夫されていると報告がなされた。

- ・全学年、脚注部に考えるためのポイントや大切な見方が書かれており、心情を問うだけでなく、児童の見方・考え方を問うものが多く、よく工夫されている。
- ・いじめ対応教材は、実際にクラスでよく起こるような児童に身近な問題が取り上げてあり、児童が自分たちの実態と重ねて学習できるよう、よく工夫されている。

日本文教出版の教科書に関しては、以下の点が工夫されていると報告がなされた。

- ・「道徳ノート」において、教科書の教材と配列や問いをそろえてあり、学びやすいよう配慮され、全ページに友達の考えを書く欄が設けてあり、多様な考えに触れ自分の考えと比較して学ぶことができ、多面的・多角的に考えるためによく工夫されている。
- ・教材の最後には、中心発問と児童が生活の中に学習したことを生かすためのヒントが書いてあり、学習内容を焦点化し、主体的に学習に取り組みやすいようとても配慮されている。
- ・いじめ問題への対応に関する教材が「心のベンチ」の中にコラムとして掲載されている。道徳の教材と特別活動での話し合いから実践を問うものになっていて、道徳的实践へつながるよう、よく工夫されている。

以上、調査研究員の報告をもとに選定委員会での審議の結果、総合的に判断して、日本文教出版の教科書が、本市の児童が使用する教科書として最適であるとの結論に達した。

